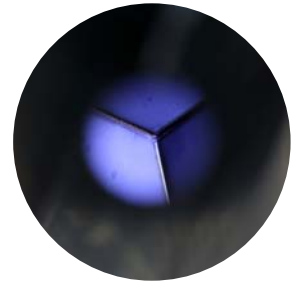


業界最先端の レーザーの溶接加工の 可能性に挑む



リモート溶接が可能な
YAGレーザー溶接機



光が通過する穴から見た
立体内部の溶接状態

作品コンテスト“優秀作品賞”

溶接部門に「小っちゃいおっさん」入りました。

素 材	ステンレス(SUS304 HL)	大 き さ	約30cm
技術内容	・YAGレーザー溶接機による遠距離からの溶接 ・光の届く場所で有ればトーチの入らない箇所も溶接可能	使用設備	・YAGレーザー溶接機 (PFO装着機)
主な特徴	・サッカーボール形状の溶接を従来の外から溶接では無く全て内側より溶接 ・全周溶接なので水漏れなし		

私たちの強みについて

YAGレーザー溶接機によるリモート溶接

一見シンプルな、ステンレス製のサッカーボール。ユニークなタイトルのこの立体は、正五角形12枚、正六角形20枚の合計32面を内側から溶接するという高度な技術で完成している。それを実現したのは、同社が全社で導入しているドイツ・トルンプ社のYAGレーザー溶接機だ。

光によって一般の溶接機の10⁹倍、約14万℃の高熱量を送り、瞬時に継ぎ目を溶接。さらにPFO(プログラマブル加工ヘッド)を駆使することで、リモート溶接をも可能にした。

テーマは「光がもの創りを変える」

光が通過する穴を1面に開け、対面に光を通して溶接。最後にその穴を閉じて密閉するという難易度の高い溶接技術をいかに表現するか。そこで製作チームが考えたのが、このサッカーボール型の多面体だった。

通常、密閉式の立体は外側からしか溶接できないが、あたかも溶接部門の「小っちゃいおっさん」が中において、内側から溶接をしたかのように。その不思議さをこのユーモラスな作品タイトルに込めたのだという。

既にこの技術は各方面の製品に生かされ、

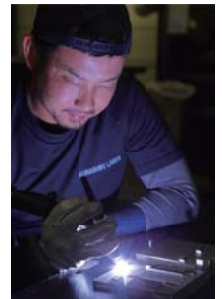
新たな製品への応用も期待されている。

CAD電子データ化で全社一元管理

最新鋭のレーザー加工機による高品質な切断・溶接、精密板金加工を得意とする同社。世界トップレベルのレーザー板金加工技術と品質を支えているのは、2007年に自社開発した独自のCADデータシステムだ。倉敷市の本社、東北、東京、名古屋、関西、九州、さらに上海の工場、事業所を一元管理し、原価計算から見積りも金額、納期に至るまで全国どこでも迅速にはじき出すことができる。顧客の引き合いに対して素早く対応することによってコストダウンが可能になり、結果的に顧客満足度を高めている。

また、月2万3000種類の製品を幅広い業種向けに供給することにより、リスク管理も行う。

難波社長の先見性の高さや豊かなアイデア、そして経営を支える一元管理システムが、同社の成長を支えている。



倉敷レーザー株式会社

<http://www.k-lasergroup.com/>

■事業内容…レーザー(CO₂、YAG)加工機によるステンレス、鉄板等の精密板金加工

〒710-0261 岡山県倉敷市船穂町船穂2095番地8

TEL:086-552-5855/FAX:086-552-9988

E-MAIL:nakauchi@kurashiki-laser.co.jp



profile

代表取締役 難波 敢 氏

- 出身地…岡山県倉敷市
 - 生年月日…昭和20年5月27日生まれ。
- 昭和58年設立。趣味はゴルフ。野球や柔道の経験もあるスポーツマン。「ええ加減でええ加減ができる」がモットー。柔軟な発想とハンブリー精神の持ち主。